



第188号

令和3年6月30日

発行
苦小牧南高等学校PTA

PTA会長 山端 敬史

皆様のご協力を

お願い致します

張つて勤めさせて頂きます。

昨年に引き続き会長を勤めさせて頂きたく事になりました山端です。現在3学年に次女、1学年に三女がお世話になっております。保護者の皆様には、日頃からPTA活動にご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。また、教員の皆様にはコロナ対応で大変な中、真摯にご指導いただきありがとうございます。2年目も皆様方との繋がりを大切にして、感謝の気持ちで活動したいと思っております。また、これまで支えて下さった前任者の皆様方に敬意の気持ちをお忘れず、不器用ながらも頑

張つて勤めさせて頂きます。昨年は新型コロナウイルスの影響で学校での様々な活動に影響がありました。生徒の皆さんは学業や部活、行事など中止や制限を強いられとても気の毒でした。しかし、この判断と対策は本校でのコロナ感染を防ぐ事に繋がっています。生徒と教員の皆様で話し合い、時に保護者様のご意見も頂きながら最善策を選択した結果だと思えます。更には、一人一人がコロナ感染に気をつけながら日々過ごして居なければ校内感染を防ぐ事には繋がっていないはず。これはとても素晴らしい事であり、皆々様に

感謝しかありません。今後も油断出来ない状況が続くと思われると思います。第一に生徒皆さんが安全に学べる環境を維持していきながら、学校関係者様と保護者様で対策を検討し協力しながら感染阻止を続けていきたいと思います。

南高校のPTA活動と言えば、生徒・教員・保護者一丸となつて行う7月の学校祭での行灯行列とバザーです。私は副会長の時に、焼き鳥担当と行灯行列サポート役で参加した事があり、共にお手伝い下さった保護者の皆さんと楽しい時間を過ごさせて頂きました。生徒手作りの個性豊かな行灯行列は地域の皆さんも楽しんでいる事もあつて、沿道には大勢の方々が駆けつけ、地域との一体感が印象深く思い出に残っております。残念ながら昨年はコロナ感染阻止の為に従来通りには出来ませんでした。今年も状況は厳しいと想定出来ますので、楽しみの一つである学校祭を、形を変えつつ感染対策を十分にし、皆さんで知恵を出し合い開催出来れば良いと思います。

未だコロナの終息が見えない状況が続く中、他の行事や活動も変更や中止が想定されます。生徒の為に今何をすべきか皆さんのご意見を頂きながら、私会長として考え判断していこうと思っております。

今後も苦南PTAのチームワークで教員の皆様と保護者の皆様で協力し、良い関係性を保ちながら生徒のために頑張ります。皆様のご理解・ご協力を心からお願い致します。





「もつとやれる」に 気付く学校へ

校長 高橋 昭仁

4月1日付で北海道上川高等学校から着任しました。PTAの皆様との新しい出会いを楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和3年度の苫小牧南高校は変化の年です。昨年度から学校の魅力を高める「南高アクションプラン(MAP)」に取り組んでおり、『もつとやれる』に気付く学校』創りを一層進め、生徒の可能性を引き出す教育活動を展開していきます。目に見えるところでは、新入生から制服をリニューアルしました。また、北海道教育委員会の事業である「学びの重点化プロジェクト」の指定校として授業づくりの研究・工夫・改善を進めています。英語指導の一層の充実を

ねらいとして、苫小牧市役所等から助言をいただきながら仮称国際

交流クラブの立ち上げや、北洋大学と連携した活動等の準備も進んでいます。eラーニングによる英語学習も始めました。校則は指導の手段が目的にならないよう注意しながら社会の変化を踏まえた改定を行い、今後も生徒との対話などを工夫しながら見直していきます。国のGIGAスクールによる校内無線LANの活用についても検討を進めています。コロナ禍の中で工夫しつつ、本校がこれまでの四十五年間で積み重ねてきた教育活動と生徒たちが脈々と受け継いできた良い気風と伝統に、新たな歴史を重ねてまいります。

さて、PTA会報「苫南だより」に私事で恐縮ですが、息子が大学

での寮生活を始めました。入寮後十日ほどたつて電話があり、寮の洗濯機がかなりカビ臭いので洗濯槽クリーナーを買ってきて掃除した、あと三台あるので一つずつやっていく、とのこと。寮生に割り当てられた仕事ではなく、自分でやろうと思い同期生と相談したようです。自宅では洗濯槽の掃除は私がやっており、息子には一度もさせたことがなかったので大変驚きました。親のすることをなんとなく見ていて、置かれた環境の課題に繋がったのでしょうか。

父母の皆様にも、積極的に教えではないのに、お子様がいつの間にかするようになったという経験を多くお持ちのことと思います。入学式の式辞の中で私は、「なつて欲しい子ども姿を保護者の皆様と私たち教職員が共通に思い描き、ともに人生の先輩として、大人として、懸命に生きる姿を示していくことが大切であると考えています」とお話ししました。子どもたちには、一番身近な大人である親の姿を基礎に、自ら学んだことや考えたこと、そして本校

での経験を重ね、生きる力を身に付けてくれることを願っています。私たち教職員も生徒たちに身近な大人として、自分の専門分野に限らず、授業づくりや新しい情報機器、社会の変化などを絶えず主体的に学び続けている姿を示すことが、主体的に学ぶ生徒を育てることに繋がると考えます。

「なつて欲しい子どもの姿」は多様です。苫小牧南高校は生徒自身が「もつとやれる」に気付き、自ら選択して進んでいくことをしっかりと支えてまいりますので、ご理解とご支援をお願い申し上げます。



新入生に期待します

新入生に期待します

1年1組担任 津田祐助

1年生の皆さんは学校へ慣れたでしょうか。今年度の1年生は制服の完成、各年次4間口の完成と君たち自身も学校も新たなスタートです。そこで、君たちに期待することはこれからの苦小牧南高校の良きスタンダードになつてもらうことです。校訓は「至誠礼節」「流汗悟道」です。楽しさや目新しさに目が行きがちですが、南高の良き伝統を守りつつ新たな流れを作ってもらいたいです。

また、主體的に物事に取り組める人間になつて欲しいと思います。私自身、今春に卒業生を出したばかりですが、南高の生徒はよく言えば堅実、悪く言えば挑戦をしないところがあると感じます。自分の限界を勝手に決めず、可能性を信じて何事にも取り組んでもらいたいです。そして、卒業後になつていくのが気になる人

間になつてください。高校3年間
は人生の中でかけがえのない時間
です。何事も一生懸命取り組み、
自分の可能性を広げてください。

新入生に期待するいっ

1年2組担任 渡邊徳彦

苦南で二回目の担任である。前回
は十二年ぶり、衰えた記憶を思
い出しながらの毎日であった。今
回は状況が違う。昨年から続くコ
ロナ禍の中である。いろいろと大
変な状況ではあるが、それに憂え
ていても何も始まらないし、前
に進めない。

「人生3万日、高校生活千日」
という言葉を前回も書いた。約八
十二年と三年である。高校の千日
をどう過ごすかでこの先が決ま
る。高校生はそのような時期であ
ることを自覚し、生活してもらい
たい。また、常に夢と希望をもち、
何事にも挑戦する気持ちをもち続
けてほしい。そして学習、部活動、
学校行事を通して日々成長してほ
しい。

夢と希望と挑戦する心をもつて
いる君たちに期待します。

新入生に期待します

1年3組担任 本保尊子

十年前、東日本大震災の直前に
卒業生を出して以来、久しぶりに
担任を持つことになりました。夢
と希望に満ちた新入生の皆さんと
出会い、共に過ごしていくのをと
ても楽しみにしております。入
学直後は緊張で堅かった表情が
徐々に和らいでいき、クラスメイ
トとの会話も増えていき、今では
だいぶ高校生活にも慣れてきたよ
うに感じますが、いかがでしょう
か。

高校生活の三年間は、いち社会
人になるために成長していく期間
です。様々な物事の意味を理解し、
自分で考え行動し結果を出してい
く、こうした力を一人一人が身に
つけないければなりません。今から
三年後の進路を意識しながら生活
することが必要なのです。皆さん
の可能性は無限大です。決して失
敗を恐れず、未知の領域にもどん
どん挑戦し、自分の糧としていつ
てほしいと願っています。

新入生に期待します

1年4組担任 触澤和樹

昨年度母校である本校に赴任
し、今年度から一年次の担任を務
めることになりました。一年生の
担任を務めるのは、十年ぶりのこ
とになります。後輩でもある第四
十六期生のみんなに期待したいこ
とは三つあります。

一つ目は、「高校生活での出会
いを大切にしてほしい」というこ
とです。縁あつて三年間を一緒に
過ごすことになった年次の人たち
とはもちろん、先輩や先生方、高
校生活を通じてのすべての出会い
を大切にしてください。

二つ目は、自分を成長させる三
年間にしてほしい」ということで
す。高校生活は登校日数にしてお
よそ五七〇日という期間限定の時
間です。できないから、やったこ
とがないからと逃げずに、一つで
も多くのことができる人になつて
ください。

三つ目は、みんなにとつても「母
校」となる苦小牧南高校に愛着を
持つてほしいということです。そ



(1年次 担任団)

のためにも、自分の可能性を信じ、あらゆることに進んで挑戦してください。自分から南高校での生活を楽しもうとしてください。そして最終的には、高校卒業後の自分の歩んでいく道を切り開いてほしいと強く願っています。共に頑張りますよう！

京牧南高校に入学して

苦小牧南高校に入学して

1年1組 山岸紘己

私たちの進路について中学校までは敷かれたレールの上を歩んできたに等しいですが、高校からはそうは行きません。就職し社会へ出るのか、進学し技術や知識を身につけるのか、いずれにせよこれからの3年間は人生において大切な時間となると思います。

私には夢があります。それは製薬開発の技術者が研究者になり、今はまだ治せない病気を治せるようにすることです。この夢を達成するにはまず大学へ進学するだけの学力を身につけなくてはなりません。特に私は苦手であり、薬学にも大切な英語の学力を高めたいと考えています。その点、苦小牧南高校は英語教育に力を入れており、自分自身を高めるには良い環境だと思っています。しかしながら、自分の目標を達成するには受け身だけでなく、主体的に取り組む

事も必要だと思っています。なので私は模擬試験や外部試験を活用しながら、短期的な目標と長期的な目標を持ち、自分自身に課題を持ちながら努力していきたいと思っています。特に英検やGTECなどの外部試験は大学入試にも採用されているので、進学のためにも自分のためにも力を入れたいと思います。

また、小学生の頃から続けてきた野球にも力を入れています。スポーツを通して、指導者や先輩後輩との人間関係を作ること、公正・公平な態度を身につけること、何事も最後まで諦めない気持ちを養うことはこれまでもも続けてきたことです。もちろん、人としての成長だけでなく、激戦区の室蘭支部を勝ち抜き全道大会へ出場するだけの技術や体力、精神力を身につけたいと思います。

今はまだ、入学したてで、授業や部活動に必死について行っている状態ではありますが、今の気持ちを忘れず、一日も早く高校生活に慣れ、3年後、そして将来の夢を達成したいと思っています。

令和3年度(2021年度)

学校教育目標

国際社会の有為な形成者を目指し、若さにあふれ、実践力に富む人間を育成する

・自主的に学び、創造的で知性豊かな人間を育てる
・礼儀正しく、情操豊かな人間を育てる
・勤労を尊び、心身ともに健やかな人間を育てる

重点事項

(1)生徒の特性を把握し、進路希望実現に向けて、キャリア教育の充実を図る。

(2)英語力育成及びキャリア育成を重視した単位制の教育課程を推進し、「確かな学力の向上」と「豊かな人間性と社会性の育成」を図る。

(3)積極的生徒指導による生徒理解の深化を進め、望ましい生活態度や自己尊重の人間関係、生涯にわたる探究心の育成を図る。

(4)家庭・地域社会と連携・協力し、相互理解と信頼関係を深め、地域創生に貢献し、地域の活動拠点となる学校づくりを進める。

(5)教職員の資質能力の向上と協働及び経営参画意識の高揚を図り、学校力向上と教育活動の充実を進める。